

令和 7 年度 年間授業計画 教科 芸術 科目 書道 I

教科: 芸術 科目: 書道 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

教科担当者:	1組 神田 雅史	2組 神田 雅史	3組 神田 雅史	4組 神田 雅史	5組 神田 雅史	6組 神田 雅史
使用教科書:	書道 I (教育出版) 副教材: 「神龍半印本で学ぶ手本蘭亭序」 (教育図書)					

教科 芸術 の目標:

【知識及び技能】	書表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深める。書の伝統に基づき作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	書によさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かな表現を工夫したり、伝統と文化の意味や価値を考える。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書表現の方法や形式を幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。	書によさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書之美を味わい捉えたりすることができる。	書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
単元 1 書之美を求めて 【知識及び技能】 書の伝統と文化を知り、深く味わう。 【思考力、判断力、表現力】 創造的な表現をするための書之美を味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 芸術を愛好する心情を育む。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項					次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識・技能】				4
	文房四宝 用具・用材について					①用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。				
	・教材					【思考・判断・表現】				
	筆・墨・硯・紙					①用具・用材から表現性の相互関連を理解している。				
・一人1台端末の活用(場面)	まなびリンク					【主体的に学習に取り組む態度】				
芸術を愛好する心情を育む。						①様々な用具・用材による多様な書之美の表現の広がり、効果の違いについて理解している。				
単元 2 書の世界 【知識及び技能】 書の伝統と文化を知り、それに基づいて必要な技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力】 創造的な表現をするための書之美を味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 芸術を愛好する心情を育む。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項					次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識・技能】				4
	姿勢・執筆 古典の学び方					①中学校国語科の書写での学習を振り返り、書写から書道への広がり理解している。				
	・教材					【思考・判断・表現】				
	教科書					①書や文字の意味や価値、表現の効果について、芸術家の視点から考えている。				
・一人1台端末の活用(場面)	まなびリンク					【主体的に学習に取り組む態度】				
芸術を愛好する心情を育む。						①生活の中で学習を活かしていくことに積極的に取り組んでいる。				
単元 3 漢字の書の学習 【知識及び技能】 用筆・運筆から生み出される書の表現性とその効果との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力】 意図に基づいた表現について構想し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に漢字の書の幅広い表現活動に取り組む。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項					次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識・技能】				8
	書体の変遷 拓本と碑について					①書の表現の多様性に気づき、既得の知識を再確認している。				
	・教材					【思考・判断・表現】				
	教科書					①生活や社会における書の効用について考え、味わっている。				
・一人1台端末の活用(場面)	まなびリンク					【主体的に学習に取り組む態度】				
主体的に漢字の書の幅広い表現活動に取り組む。						①主体的に学習に取り組んでいる。				
単元 4 楷書の学習 【知識及び技能】 書体や書風と、用筆・運筆の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力】 古典の書体や書風に即した表現について構想し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に漢字の書の幅広い表現活動に取り組む。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項					次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識・技能】				4
	唐の四大家 書風の分析					①名筆による書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。				
	・教材					【思考・判断・表現】				
	教科書 九成宮體泉銘 孔子廟堂碑					①線質、字形、構成などの要素と、風趣について理解している。				
・一人1台端末の活用(場面)	まなびリンク 比較と分析					【主体的に学習に取り組む態度】				
主体的に漢字の書の幅広い表現活動に取り組む。						①反復的な活動の積み重ねによって学習を深めているとしている。				
定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説										

